



～『好き』になるから始めよう～

豊野小・中学校だより

第10号（令和5年9月1日）

小学校 157 中学校 84人 計241人



豊野小・中学校  
ホームページ

## 前期後半スタート！

長い夏休みがあつという間に終わりました。子どもたちそれぞれに、充実した夏休みを送ることができたことでしょう。がんばったこと、楽しかったことなど、さまざまな経験を糧として、前期後半も「挑戦」し、大きく成長してほしいと思います。職員一丸となり、子どもたちのためにがんばってまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。（校長先生のお話）



7月に開催予定であった「宇城市『少年の主張』大会」において、豊野中学校3年 稲葉日和さんの作文が  
入選し、表彰されました。（当日の大会は、台風の影響で  
実施されず残念でした。）自分の心を深く見つめ、綴って  
いる稲葉さんの作文は、私たちの心を震わせ、希望を与  
えてくれるように思います。稲葉さん、おめでとう！



### 「見つけよう、みんなの良いところ」

宇城市立豊野中学校 三年 稲葉 日和

みなさんは、自分の家族や友達の良いところをすぐに言うことができますか。今の私は、周りにいる人について「この人のこういうところが好きだ。」「あの人には、こういう良いところがある。」と言えるようになりました。しかし、以前の私は、そうではありませんでした。周りにいる人の良さに気づかないだけでなく、周りの人との関係に悩んだり苦しんだりした時期がありました。（中略）

中学生になって、少しずつ、良い意味で周りのことを気にしすぎなくなったり、周りの人の良さに気づいたりすることが多くなっていきました。例えば、私が小学生の頃に苦手だった人は、中学校で一緒に生活していくうちにだんだんと距離が縮まり「自分がやりたいことを明確に持っている。」そして「やりたいことを貫き通す芯の強さを持っている。」すごい人と気づき、その人に対して心をゆるし、仲良くなることができました。そして、他の人についても同じように新しく良いところを見つけることができました。それは、五月に行われた運動会の時です。一緒に同じ困難を乗り越えていくなかで、「いつも明るくにぎやかな人」という見方しかしていなかった人が実は、自分の三年生としての役割にしっかりと責任を持ち、陰でたくさんの努力をしていることに気づいたので。このように毎日の学校生活や運動会などの学校行事を通して、それぞれのすごいと思うところ、自分にはない、尊敬できるようなところに、たくさん気づくことができました。

振り返って見ると、中学生になってから、本当に少しずつ少しずつ、時間をかけて変わってきたように思います。そして今も少しずつ確かに成長していると感じています。それは私自身の人の見方であったり、接し方であったりすると思います。同じようにクラスのみみんなも成長していると思います。いままで、一緒にいることがとても苦しかったこともありましたが、それでも離れずに、みんなと一緒に過ごしたおかげで、みんなのことがもっと好きになれました。もちろん誰にでも欠点はあると思います。しかし、欠点を知ったうえで、それを含めて、好きになったり尊敬できたりするようになったのです。そして不思議なことに周りの人の良さに気づくことができるようになったら、自分自身の気持ちもとても楽になりました。

今、私は「クラスのみみんなが、全員の良い所を本気で言えるクラス」を作りたいと思っています。そのためには、まず相手の気持ちを考えること、みんなのことをよく見て、知ることを、さらに続けていきたいと思っています。まずは、自分から、そしてこの思いは、色々な人にひろがっていくことを信じています。みなさんも一緒に、周りの人の良さを見つけてみませんか。きっとあなたが思っている以上にあるはずですよ。お互いを大切にし合える、温かい仲間を作っていきます。